

新事務局長就任挨拶

事務局長 澤口 勇治

この度、新しく事務局長に就任しました澤口勇治でございます。どうぞよろしくお願い致します。

前事務局長の松田さんには、約 17 年の長きにわたり北海道支部の活動を支えて頂き厚くお礼申し上げます。

松田さんとの出会いは、2012 年 5 月日本 ALS 協会の総会にお誘いいただき患者の妻(2011 年入会)と一緒に参加したのが最初でございます。翌年の 2013 年正式に日本 ALS 協会の正会員となり、北海道支部の運営委員として活動することとなりました。

簡単に自己紹介させていただきますが、千歳在住の今年 11 月に 70 歳になる遺族です。ALS 患者だった妻は、発症から 5 年 3 ヶ月・・・様々な公的制度を利用して自宅での療養生活を送っていましたが、2016 年 5 月、残念ながら 64 歳と九か月の人生を終えることとなりました。

北海道支部の歴史を振り返ると、平成 5 年 8 月「難病 ALS 患者を励ます集い」が開催され、平成 9 年 8 月に「北海道 ALS 友の会」が結成され、活動が始まりました。その後函館始め地方都市で患者・家族の交流会を開催し、交流の輪を広げていきました。平成 13 年 4 月全国で 31 番目の支部として「日本 ALS 協会北海道支部」として発足し現在に至っています。

また、北海道難病連の加盟団体として、難病連の事業活動にも参加しているところです。

この間、医学も日進月歩進化しています。神経難病においても様々な研究機関において ALS 完治に向けた薬の研究がなされておりますが、残念ながら今現在治療に繋がる薬はまだ出来ておりません。ただ、介護保険の導入や平成 25 年 4 月身障者総合支援法の制定により

療養環境が少しずつではありますが、良くなりつつあると思いますが、これも一部都市部における話で、地方部では、施設不足、人材不足等でまだまだ満足のいける療養環境にありませんので必然的にご家族に負担がかかっているのが現状ではないかと思っています。

北海道支部では、4月から11月まで「絆サロン」を開催しています。杉浦支部長始め運営委員が、患者さんやご家族さんの悩みに相談、対応させていただいております。

毎回新しい相談者が参加されます。私達は、患者さんやご家族さんがこの絆サロンを通して、患者委員の生活状況の話を聞き、家族・遺族委員が経験された話を聞き、今後の参考にしていただければと思っています。

今後とも杉浦支部長始め運営委員一同は、患者さん始め会員の皆様が安心して過ごせる環境になることを願って活動して参ります。

どうぞよろしくご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

あなたの一番好きな場所でいつも共に希望を持って、どこまでもあなたの心に寄り添っていきます。あなたの感じる悲しみも苦しきも喜びも。いつも一緒に感じ合うことができる二つの葉。在宅生活を通じて一緒に歩み行くステーションです。



訪問看護リハビリステーション双葉

札幌市北区北40条西5丁目5-25-701

(TEL) 011 - 790 - 7897 (FAX) 011 - 790 - 7231 代表 廣瀬慎一

